

Science Report of Kushiro City Museum

釧路市立博物館報

NO.427



2021.3

釧路の郵便局の歴史を振り返って～2021年は郵政創業150年～

私と博物館のみなさまとの出会いは、平成17年の戦後60年パネル展をフィッシャーマンズワーフMOOで開催したときに遡ります。

昭和20年7月14日～15日、釧路市中心街に大規模な空襲がありました。その歴史をつなぎ、記憶を風化させないという取り組みとして企画した際に、戸田学芸員が真摯に対応いただいたこと、今でも感謝に堪えません。その後、歴代の館長をはじめ学芸員のみなさまとのつながり、地域をPRするオリジナルフレーム切手の発行、風景印、小型印のデザイン制作等の支援をいただき、現在は私だけではなく地域の数多くの郵便局長たちが大変お世話になっております。

郵便局の歴史は、今年で150年の節目を迎えます。創業したのが明治4年、その後明治8年1月1日には、釧路郵便局(現在の釧路中央郵便局)が、当時の真砂町(現：南大通)で開局しました。その後、一番新しい私の勤務するイオンモール釧路昭和内郵便局まで、釧路管内には「89局」が生まれました。実は、みなさまにご利用いただいている郵便貯金、通帳面を見ていただくと、日付の横に「5桁の番号」が印字されています。この番号は、「取扱局番号」といい、どこの郵便局をご利用いただいたかがわかるようになっています。

釧路管内で一番最初に釧路管内で開局したのが、今の本厚岸郵便局(当時の厚岸郵便局)で「92001」、以降、開局順に「92002 霧多布郵便局」「92003 標茶郵便局」「92004 釧路太田郵便局」「92005 釧路中央郵便局」「92006 白糠郵便局」「92007 昆布森郵便局」「92008 弟子屈郵便局」「92009 浜中郵便局」・・・と開拓された順番に郵

便局の開局が進んでいます。この番号を順番に並べるために、貯金に歩いている郵貯ファンが多くおります。当時の入植者が開拓を進め、町が出来ると「警察署と郵便局と学校」が行政の中心として整備が進められてきたということです。

昨年、閉山50周年を迎えた「雄別炭鉱」にも郵便局は存在し、最盛期には電話交換士を含め約40名の職員が勤務する大所帯でした。当時の先輩の話を伺うと、昭和45年2月27日にヤマが閉鎖され、住民たちが町を離れていく姿を見送り、6月末に最後の住民を見送ってから郵便局の閉鎖作業を行ったということを知っていました。いま自分が、この雄別の歴史を伝える仕事を博物館のみなさま方と取り組んでいるのも、当時、郵便局の先輩たちが街のために働いてきた歴史があるので、その想いを次世代に伝えたいという気持ちも強いからです。

郵便局の「郵」という字は、「取り次ぐ」「つなぐ」という意味があります。昨年、話題となった大河ドラマ麒麟がくるの主人公、明智光秀が織田信長を打ち取った本能寺の変、最近、その史実を語る古文書が見つかったと話題になっていました。日本史も世界史も、その歴史を読み取るのは主に手紙です。そんな歴史と文化を伝えていくのが博物館の仕事であり、郵便局の使命でもあると考えています。

これからも、博物館の皆さまとともに、「地域の歴史と文化を探検する」そんな思いで引き続きお付き合いさせていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

前川 英樹

(イオンモール釧路昭和内郵便局長)

3月号目次

釧路の郵便局の歴史を振り返って～2021年は郵政創業150年～	前川 英樹	2
戦後75年の道新連載記事と室内昭三さん	石原 宏治	3
企画展「織る×編む シタイキ・オッケ・テセ～釧路地方に伝わるアイヌ女性の手仕事～」を開催	城石 梨奈	7
講演会「クワガタムシの魅力に迫る！」講演録	荒谷 邦雄	9
チャランケチャシ	澤田 恭平・佐藤 志敦	11
博物館ニュース		12

〈表紙写真〉博物館の目の前にある春採湖は、本格的な冬を迎えると全面が結氷します。冬は積雪や風向き状況によって表紙写真のような、さざなみが立っているような景色が見られることもあり、厳しい冬ならではの顔もあります。今年度、パネル展「春採湖～人と自然が織りなす湖～」を開催し、あわせて博物館解説シリーズ「春採湖」も刊行しました。この解説シリーズをきっかけに、読者へ春採湖の新しい魅力を見つけていただき、より足を運んで欲しいと思います。(貞國 利夫 撮影：高橋勇人)

釧路市立博物館館報 No.427 2021年3月号 2021年(令和3年)3月31日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎0154-41-5809(博物館)・43-0739(埋蔵文化財調査センター)/FAX 0154-42-6000

釧路市立博物館Web <http://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

museum@city.kushiro.lg.jp(博物館) maibun@city.kushiro.lg.jp(埋蔵文化財調査センター)

発行責任者 佐藤 志敦 編集 貞國 利夫・石川 孝織 印刷 (株)藤プリント